

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	出雲県土整備事務所 管理第一課	氏名	高野健司
派遣先 団体名	出雲市 川跡コミュニティセンター		
① 研修の日時 平成25年7月20日(土)・22日(月)・25日(木) 同 8月17日(土)・18日(日)・24日(土) 計6日間			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 【各種イベントへのスタッフ参加及び、事務補助】 夏休み子供学習広場のスタッフとして参加。(7/20・7/22・7/25) (会場設営・学習指導等) また、各種イベントへのスタッフとしての参加。 (救命救急講習会(7/25)・シーカヤック&水辺のセイフティ体験(8/17~18) ・ものづくりとソーメン流し(8/24))			
③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 自分が育ち、現在も生活の拠点としている地区のコミュニティセンターでの研修ということで、正直緊張感もありましたが、研修が終わってみてまず思うことは、こうして自分の生活に直結した地区での研修を今回させていただいたことで、普段とは違った目線で地域を見て、知ることができ、改めて多くのものを身近に感じることもできた、とても有意義な研修となったと感じております。 まず、この研修の中で私が参加させていただいた、「夏休み学習広場」「救命救急講習会」「シーカヤック&水辺のセイフティ体験」「ものづくりとソーメン流し」という企画を通じ、スタッフとして、またはボランティア参加されている方々が、各自の仕事・趣味をはじめいろいろな得意分野で、技術・知識を豊富に持っておられ、そしてそのような方々がこの地区内に数多くお住いであることを知りました。 この短い研修の期間中に私がお会いできた方はほんの一握りの方々とは思いますが、こうして地区内のいろいろな方々と知り合えたことが、まずは今後の自分にとって大きな宝となることと思います。 今回の研修でコミュニティセンターの活動内容を詳しく知り、このコミュニティセンターの各種取り組みが地域の人と人を結び、つながりを作り育てていて、地域にとって重要なポジションに位置していることを認識しました。 そしてそれらは、職員・ボランティアの努力・アイディアにより企画運営されており、その皆さ			

ん一人一人がとても積極的で、自分の役割に自覚と責任感を高く持って行動されている姿がとても印象的でした。

然しながらその熱意と取り組みに対し、普段よりこのコミュニティセンターを多く利用しているのは、圧倒的に年配層または小学生くらいの子供達为中心であり、利用者に年代的な偏りがあるのも事実のようです。

多種多様な企画で地域を盛り上げようと積極的に取り組みされているその内容を、今まであまり関わりを持たなかった世代にどうアピールし、参加しやすい環境と雰囲気はどう作っていくのか、今後の課題であると思います。

今回の研修を通じ、行政という職業にある自分と、この地域に住む住民の一人として、自分自身ももう少し地域に目を向け、そしてつながりを持って暮らすことが、仕事や生活を豊かにすることではないかと、反省を込めて感じております。

この研修で得た経験と出会いを、今後の自分の肥やしと成せるよう、今後も地域の活動に目を向け、協力ができるよう生活したいと思います。

受入れてくださった川跡コミュニティセンターの職員の皆様には、貴重な経験の場を与えてくださり、心より感謝しております。

ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

まずこの研修について、職員内での認知度がとても低いと感じた。

自分が今回この研修に参加するにあたり、初めてこのような研修があることを知ったり、その内容について理解する人が沢山いて驚いている。

今後この研修に参加する人が参加しやすいように、このような研修があることをもっと職員に向け宣伝する必要があると思う。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。